

神戸市立博物館年報

平成 29 年度 No.34



目 次

事業概要（平成 29 年度）	2
展示・普及活動	
1. 特別展	
（1）第 131 回特別展 遙かなるルネサンス 天正遣欧少年使節がたどったイタリア	3
（2）第 132 回特別展 開国への潮流—開港前夜の兵庫と神戸—	9
（3）第 133 回特別展 ポストン美術館の至宝展—東西の至宝、珠玉のコレクション—	13
2. 企画展	
（1）南蛮美術・古地図企画展 絵画と地図に見る日欧交流	18
3. ギャラリー	
（1）版画家の絵と版画／彫刻家のデッサンと彫刻	18
4. 普及事業	
（1）一般向け事業	19
（2）子供向け事業・学校との連携事業	22
（3）学習支援交流員活動	24
（4）共催・協力事業	25
5. リニューアル	26
6. 特別展・企画展等の開催一覧	27
7. 刊行物	28
収蔵資料	
1. 指定文化財一覧	29
2. 受贈資料	30
3. 購入資料	30
4. 資料補修	31
5. 資料の利用	
（1）特別利用 館外貸出	32
（2）特別利用 その他	35
（3）画像利用	35
（4）画像提供業務	35
入館者数	
1. 年間入館者数	36
2. 年齢層・階層別	36
3. 特別展	37
予 算	38
博物館協議会	38
職員・組織	39

事業概要

平成 29 年度の事業報告として、神戸市立博物館年報第 34 号を発行いたします。

本年度は、特別展としては「遙かなるルネサンス 天正遣欧少年使節がたどったイタリア」「開国への潮流―開港前夜の兵庫と神戸―」「ボストン美術館の至宝展―東西の至宝、珠玉のコレクション―」を開催しました。なお、「遙かなるルネサンス」展より、新たに高校生向けの入館料金を導入しました。

当館の館蔵品や神戸ゆかりの文化財を展示する企画展としては南蛮美術・古地図企画展「絵画と地図に見る日欧交流」を、ギャラリー展示として「版画家の絵と版画」を開催しました。

普及事業では、一般向け事業として「ミュージアム講座」、「博物館をたのしむ」を、子供向け事業として「夏休み土器づくり教室」「ジュニアミュージアム講座」「こうべ歴史たんけん隊」、「博物館たんけん隊×中高生《中高生のための博物館入門》」を開催しました。

平成 29 年度の開館日数は 241 日で、うち特別展は 204 日でした。入館者総数は 374,690 人、内訳は、常設展 5,965 人、特別展 367,663 人、普及事業 1,062 人です。

学校団体の来館は 135 校 6,582 人でした。トライやるウィークも 11 校 22 人が研鑽に励みました。学校授業への職員派遣は 131 校、376 時間 9,026 人に及びました。館外貸出は 21 ヶ所 134 件 187 点、特別利用（館外貸出以外）は 47 件 716 点、画像利用は 193 件 677 点、画像提供業務委託は 418 件 583 点でした。

また、「ボストン美術館の至宝展」閉幕後より、当館はリニューアル休館に入りました。再開館は 2019 年 11 月を予定しています。本年度の年報では今回のリニューアル事業についても報告しています。

この年報により、平成 29 年度の当館の事業概要をご理解いただければ、幸いに存じます。

1. 特別展

(1) 第131回特別展

遙かなるルネサンス 天正遣欧少年使節がたどったイタリア

・内 容／

16世紀の大航海時代、キリスト教の世界布教にともない、宣教師が日本にもやってきた。イエズス会士ヴァリニャーノは、西欧とは異なる高度な文化を日本に認め、時のキリシタン大名に日本人信徒をヨーロッパに派遣する計画をもちかける。後世に名高い「天正遣欧少年使節」である。使節に選ばれた伊藤マンショ、千々石ミゲル、原マルティーノ、中浦ジュリアンら4人の少年たちは、1582年に長崎からイタリアに向けて旅立ち、ローマで教皇グレゴリウス13世に謁見、訪問する各地で手厚いもてなしを受けた。

本展では、天正遣欧少年使節が訪れたイタリア各地の芸術を紹介することにより彼らの足跡をたどった。ブロンズイーノやティントレットの絵画作品を始め、タピスリー、陶器、ガラスなどの工芸品や書簡資料が当時のヨーロッパを追体験させる展覧会となった。

- ・会 期：平成29年4月22日（土）～7月17日（月・祝） 75日間
- ・会 場：特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2
- ・主 催：神戸市立博物館、神戸新聞社、MBS、朝日新聞社
- ・後 援：外務省、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、サンテレビジョン、ラジオ関西
- ・協 賛：アリタリアーイタリア航空、アルテリア、ヤマトロジスティクス
- ・特別協力：ウフィツィ美術館
- ・企画協力：東京富士美術館
- ・入 館 料：当日・一般1,300円
- ・入館者数：201,370人
- ・出品点数：67件 ※出品目録は[当館HP](#)に掲載
- ・関連事業：p.19に掲載



ポスターB2



図録



ポスターB3



こども鑑賞ガイド


プロフェッサー「イタリア・メディチの肖像」(1542年頃)
ウフィツィ美術館 © Galleria Fotografica della Galleria degli Uffizi

メディチのプリンセス、初来日

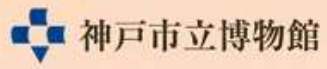


遥かなるルネサンス *Sol Levante nel Rinascimento Italiano*

天正遣欧少年使節がたどったイタリア

2017年4月22日(土) — 7月17日(月)  時間=午前9時30分~午後5時30分(土曜日は午後7時まで、入館は閉館の30分前まで)
休館日=毎週月曜日(ただし、7月17日は開館)

主催=神戸市立博物館、神戸新聞社、MBS、朝日新聞社
協賛=外務省、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、
サンテレビジョン、ラジオ関西
協賛=アリタリア-イタリア航空、アルテリア、ヤマトロジスティクス
特別協力=ウフィツィ美術館 企画協力=東京富士美術館



チラシ(表)

Sol Levante nel Rinascimento Italiano



大会の工原
クリストファノ・ガッパリー(ヤコポ・ロココの作品に基づく)
『リヴェルノ港の景観』1601-1604年 ウフィツィ美術館
© Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi



ドメニコ・ティントレット
『伊東マンショの肖像』1585年
ミナトトリヴルツォ財団



『伊東マンショからグリエルモ・ゴンザガにあてた手紙』
1585年8月2日付
マントヴァ国立図書館、ゴンザガ文書館 © Mantova, Archivio di Stato



ヤコポ・ティントレット
『レダと白鳥』
1551-55年
ウフィツィ美術館
© Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi



ウルビーノ宮、パタナツィ工房
(市民を救うカエサル)が描かれた大鏡
1580-1590年頃
フィレンツェ、パルジェッロ美術館
© Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi

16世紀、キリスト教の世界布教にともない宣教師が日本にもやってきます。イエズス会士ヴァリニャーノは、日本における布教をさらに深めるために、日本人信徒をヨーロッパに派遣します。後世に名高い「天正遣欧少年使節」です。使節に選ばれた伊東マンショら4人の少年たちは、1582年に長崎からイタリアに向けて旅立ち、ローマで教皇グレゴリウス13世に謁見、訪問する各地で手厚いもてなしを受けました。

本展では、天正遣欧少年使節が訪れたイタリア各地の都市の芸術を紹介し、彼らの足跡をたどります。ブロンズイーノやティントレットの絵画作品を始め、タピスリー、陶器、ガラスなどの工芸品や書簡資料が当時のヨーロッパを体験させてくれることでしょう。

入館料	一般	1,300円 (前売・団体 1,100円)
	高校生・大学生	900円 (団体 700円)
	中学生・小学生	500円 (団体 350円)

※前売券は2月22日(水)から4月21日(金)まで一般のみの販売。団体は20名以上、満65歳以上で「神戸市すこやかカード(老人福祉手帳)持参の方は当日一般料金が半額。障がいのある方は、障がい者手帳などの提示で無料。小学生未満無料。小中学生で「のびのびパスポート」をお持ちの方は障がい者手帳の提示により無料。その他の減免、割引は当館HPをご覧ください。

チケット取換 チケットぴあ[Pコード:768-097]、ローソンチケット[Lコード:51392]、セブン-イレブン、イープラス、JTB、他主要ブレイガイドやコンビニエンスストアなど。詳細は公式サイトをご覧ください。
※チケット購入時に手数料がかかる場合があります。

イベント

- ◆ **記念講演会** ① 4月30日(日) 午後2時～3時30分
「ルネサンスからマニエリスムへ」 京都大学大学院教授 岡田温司氏
② 5月14日(日) 午後2時～3時30分
「ヨーロッパの知識を日本に伝える―天正遣欧少年使節の背景と意味するもの―」
京都外国語大学教授 シルヴィオ・ヴィータ氏
会場: 博物館 地階講堂 定員: 当日先着順(各日定員160名)
参加費: 聴講無料(本展観覧券が必要) ※当日午後1時から講堂前で入場整理券を配布
- ◆ **イブニング・レクチャー** 学芸員による展覧会の見どころの解説
会期中の毎週土曜日 午後5時～5時30分
会場: 博物館 地階講堂 定員: 当日先着順(各日定員160名)
参加費: 聴講無料(本展観覧券が必要)
- ◆ **コンサート** 4月23日(日) 午後2時～3時30分
「イタリアを訪れた天正遣欧少年使節団と当時の器楽曲(1585～1613年)」
演奏: アカデミア・デル・リチエールカーレ
会場: 博物館 地階講堂 定員: 当日先着順(各日定員160名)
参加費: 聴講無料(本展観覧券が必要) ※当日午後1時から講堂前で入場整理券を配布
- ◆ **こどもの日スペシャル** 5月5日(金・祝) 午前10時30分～12時 / 午後2時～3時30分
展覧会のやさしい解説を聞いた後、親子で鑑賞していただけます。
対象: 小中学生とその保護者 定員: 各回先着50組
参加費: 無料(入館料が必要) ※各回開始30分前から地下講堂前で整理券を配布
- ◆ **ジュニアミュージアム講座**
① 5月28日(日) 「きみだけの仮面舞踏会マスクをつくってみよう!」 午前10時～12時
② 6月25日(日) 「天正遣欧少年使節を屏風絵にえがいてみよう!」 午前10時～12時
対象: 小学4年生～中学生 定員: 各回20名(応募者多数の場合は抽選)
参加費: 500円(付き添いの保護者のかたは、団体割引料金でご入館していただけます)
申込方法: 往復葉書に希望イベント名、参加希望の子供全員のお名前、学年、電話番号、返信用のあて名を記入し、「神戸市立博物館 子供プログラム係」までお送りください。1枚の葉書で複数のイベントに申し込むことはできません。
申込締切: ①は5月13日、②は6月10日の消印有効



アクセス

- JR「三宮」駅、阪急・阪神「神戸三宮」駅、神戸市営地下鉄(西神・山手線)、ポートライナー「三宮」駅から南西へ徒歩約10分
- JR-阪神「元町」駅から南東へ徒歩約10分
- 神戸市営地下鉄(海岸線)「旧居留地・大丸前」から南東へ徒歩約3分
- 新幹線「新神戸」駅で神戸市営地下鉄(西神・山手線)に乗り換え「三宮」駅下車
- 神戸空港からポートライナーで「三宮」駅下車
※ 博物館には駐車場がありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。

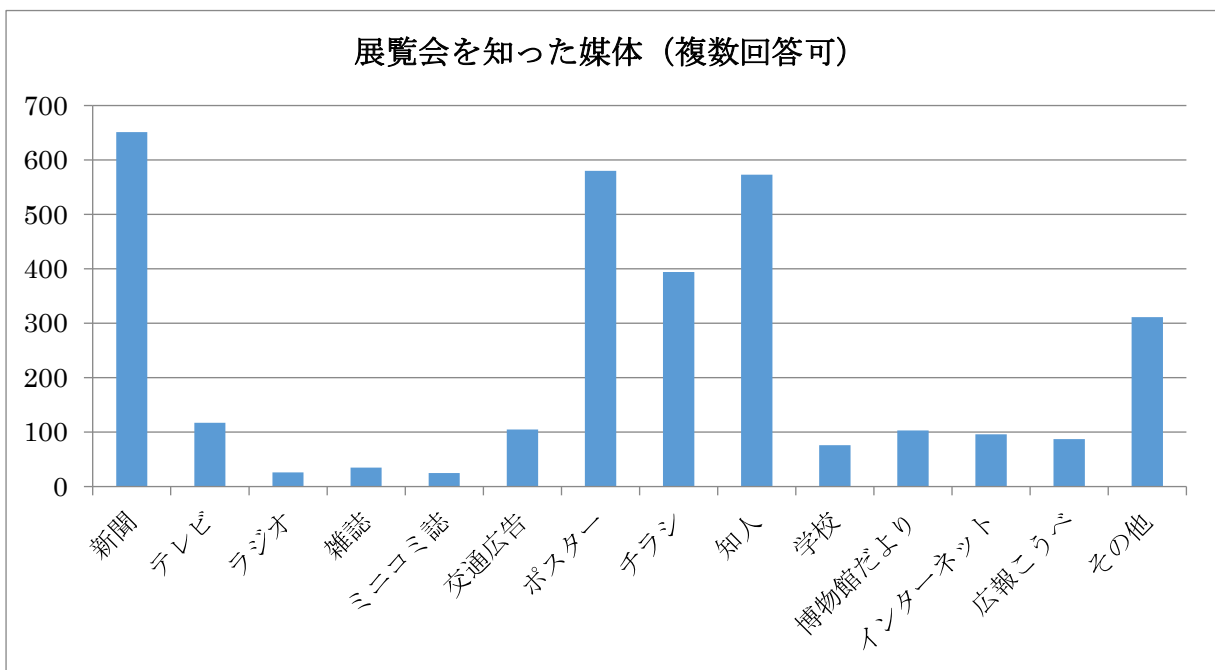
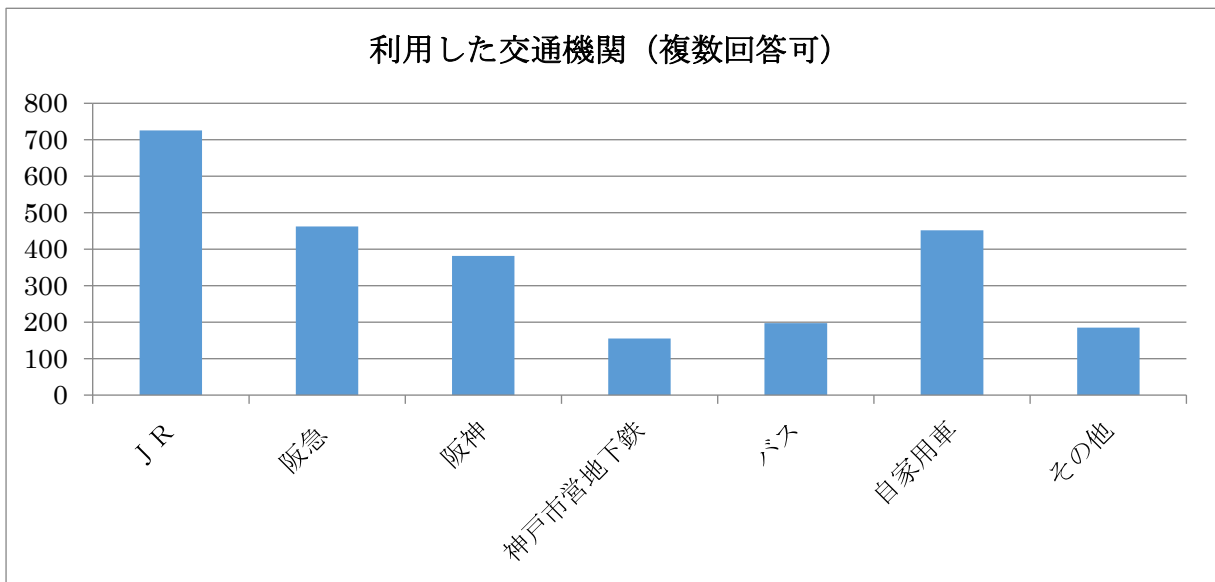
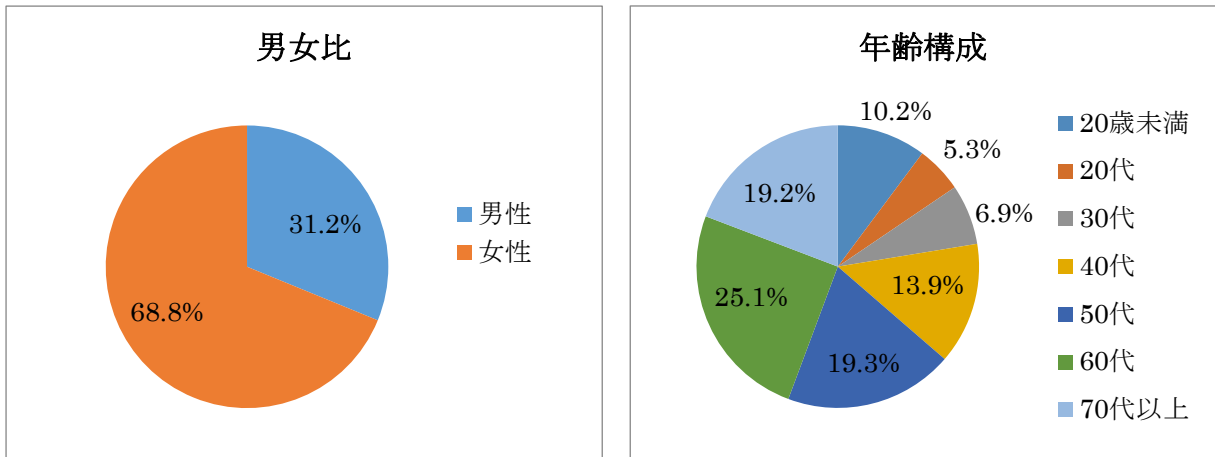
神戸市立博物館

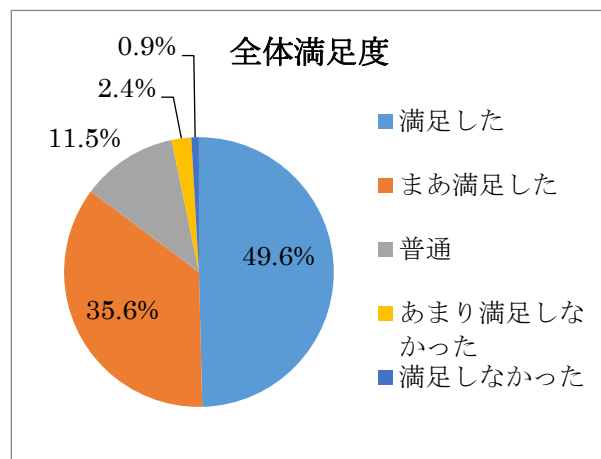
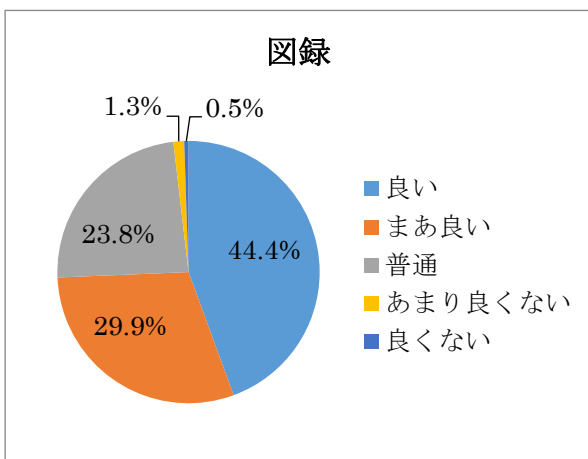
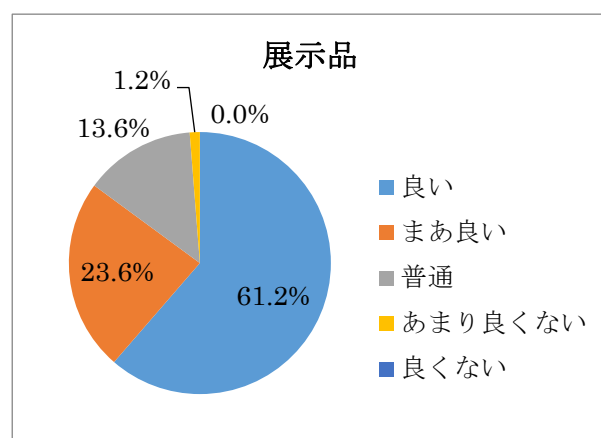
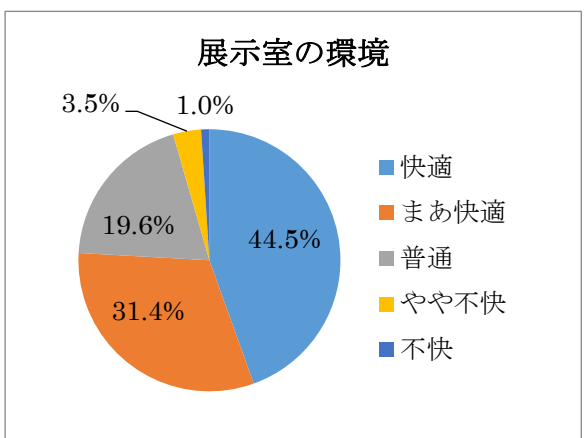
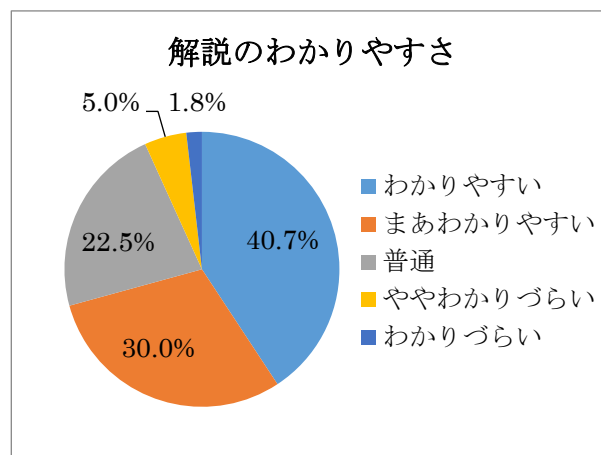
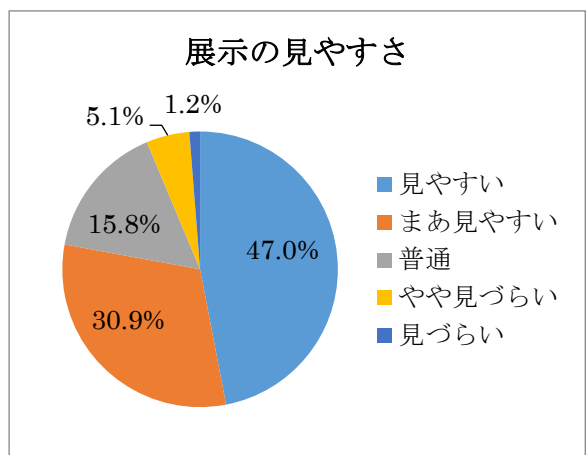
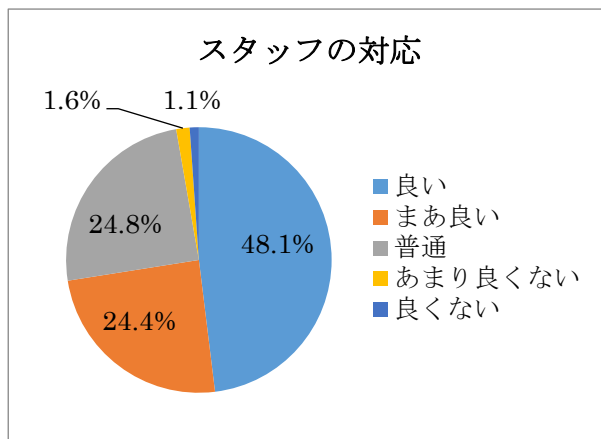
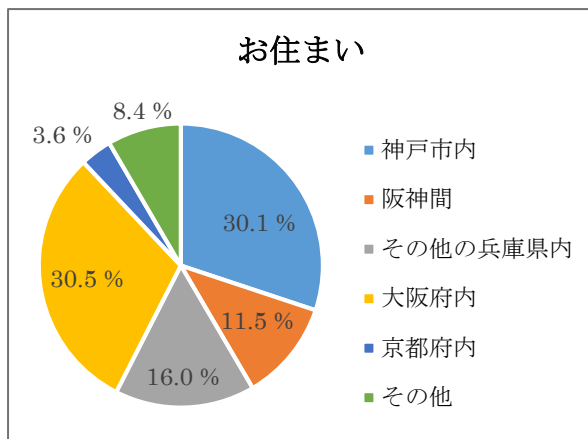
〒650-0034 神戸市中央区京町24 TEL.078-391-0035
HP: <http://www.city.kobe.lg.jp/museum/>

チラン(裏)

アンケートの結果（回答者：2,880人）

アンケート方法：展覧会期間中、観覧を終えた希望者による用紙記入





神戸開港 150 年記念

開国への潮流—開港前夜の兵庫と神戸—

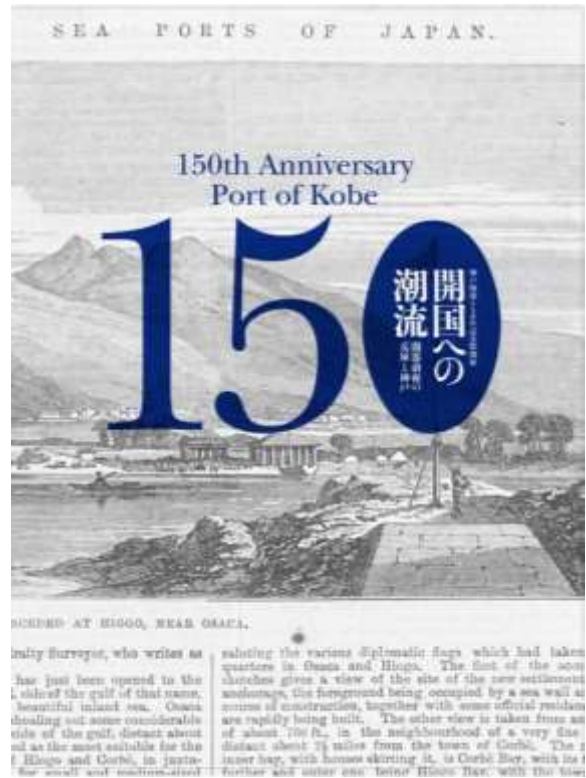
・内 容／

神戸開港 150 年記念事業として開催した特別展。1868 年 1 月 1 日の開港以降、神戸は国際貿易港として、諸外国の様々な文化・技術・知識・制度を受容する窓口となり、日本の近代化に大きな役割を果たしてきた。これまで当館では、開港 120 年記念特別展「神戸はじめ物語」（昭和 62 年）、居留地返還 100 周年記念特別展「神戸・横浜“開化物語”」（平成 11 年）など、開港以降の神戸の歴史を振り返る展覧会を開催してきた。しかし日本が諸外国へ向けて開国し、神戸開港が実現されるには幾多の困難があり、それを乗り越えるべく様々なドラマが繰り広げられた。本展ではこれまでと異なり、開港前夜の兵庫・神戸において、その実現にむけて繰り広げられたさまざまな出来事のなかから 5 つのエピソードを抽出し、神戸開港がいかにして成し遂げられたのかを紹介した。また神戸開港への道筋は、平成 27 年 7 月に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」が示すストーリーとも密接に結びつくものであり、本展ではそれとの関連についても触れた。

- ・会 期：平成 29 年 8 月 5 日（土）～9 月 24 日（日） 44 日間
- ・会 場：南蛮美術館室、特別展示室 2、ギャラリー
- ・主 催：神戸市立博物館、神戸新聞社、NHK 神戸放送局
- ・後 援：サンテレビ、ラジオ関西、Kiss FM KOBE
- ・協 賛：日本教育公務員弘済会兵庫支部、みなと銀行文化振興財団
- ・入 館 料：当日・一般 800 円
- ・入館者数：19,347 人
- ・出品点数：140 点 ※出品目録は[当館 HP](#)に掲載
- ・関連事業／p.20 に掲載
- ・同時開催：神戸市指定文化財指定記念特集展示 神戸外国人居留地の設計図
会 場：1 階ホール



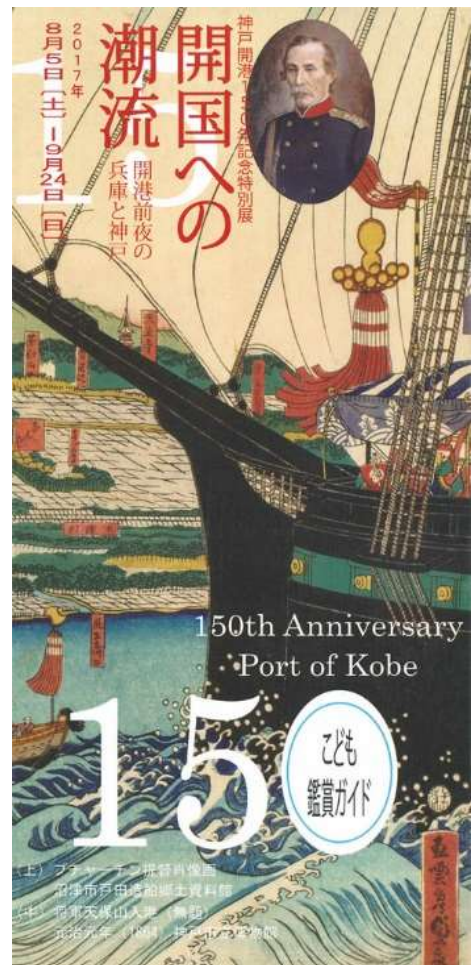
ポスターB2



図録



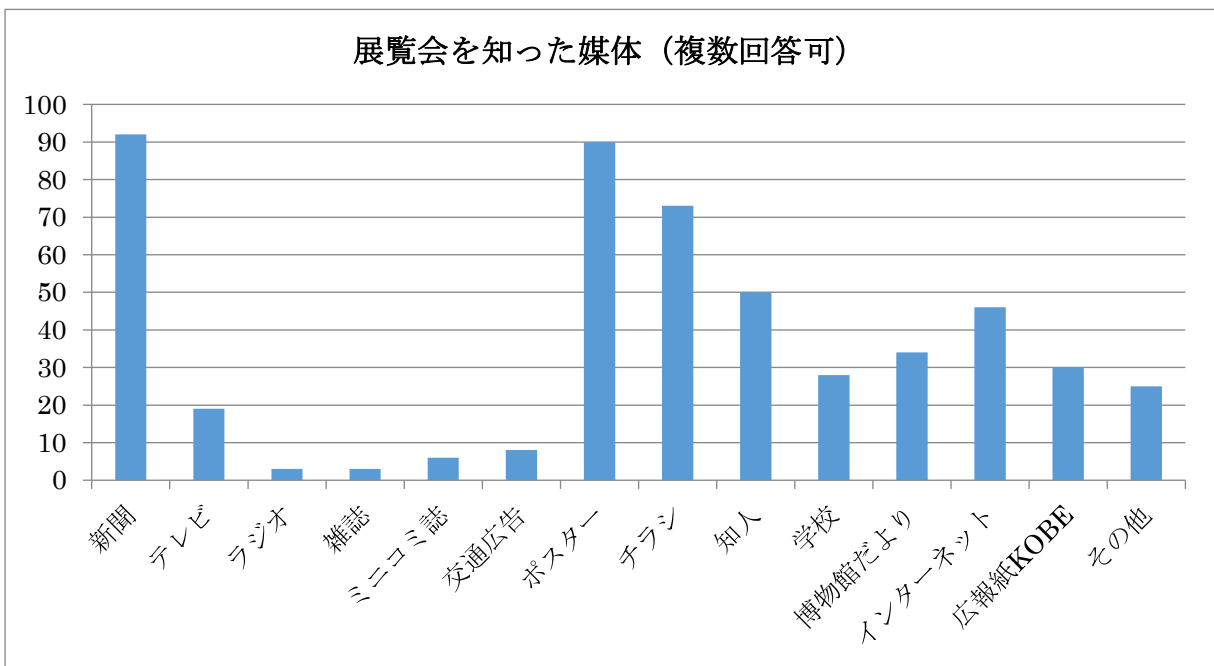
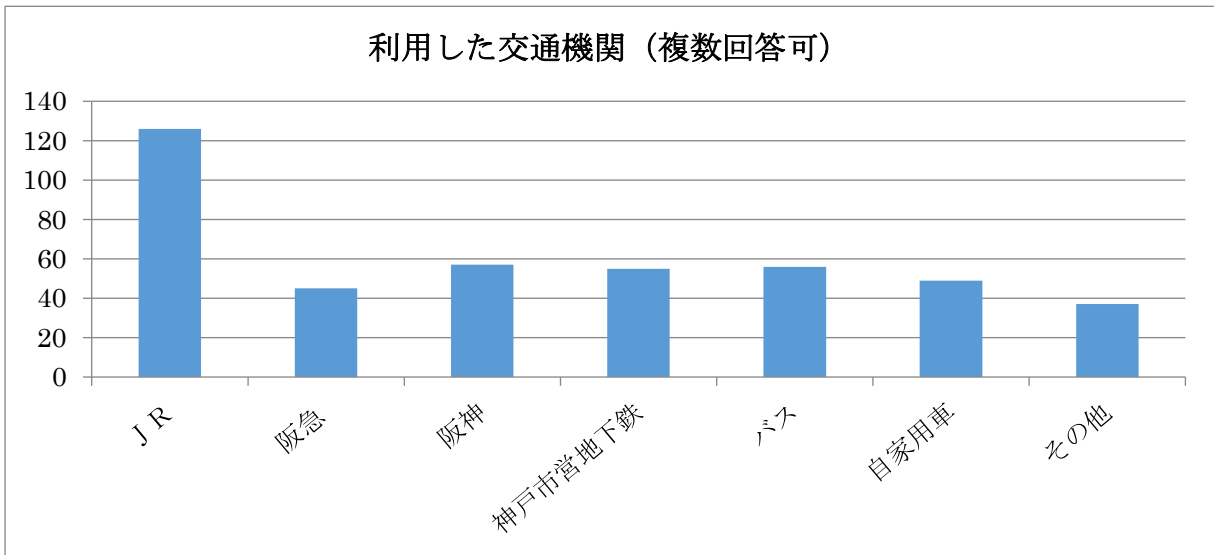
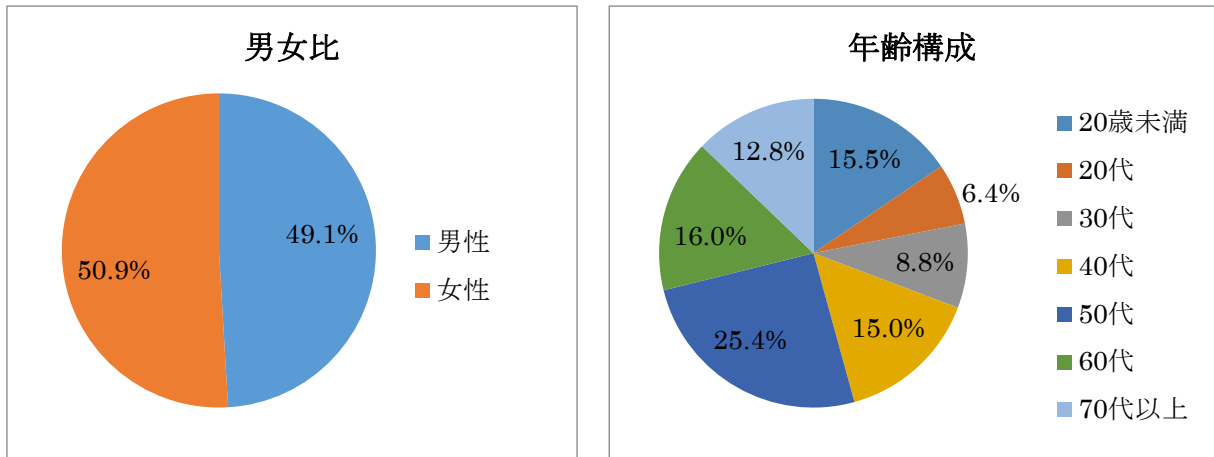
ポスターB3

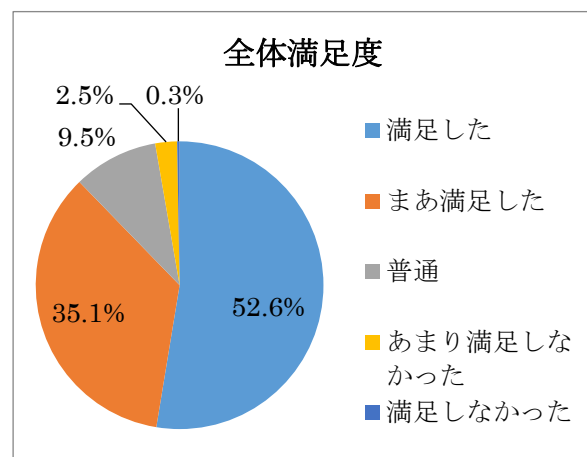
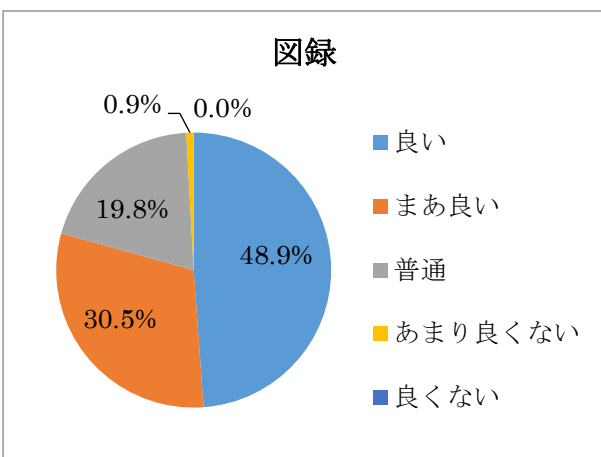
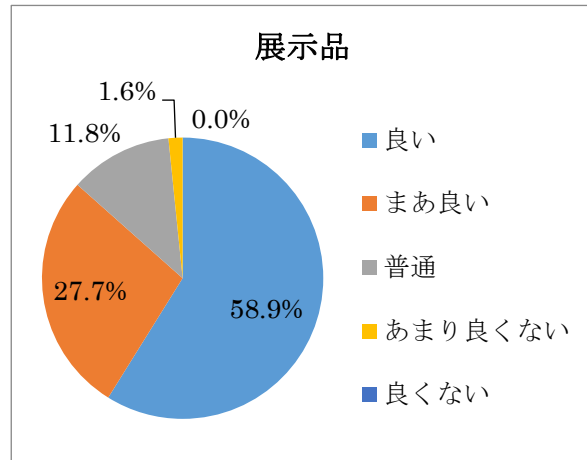
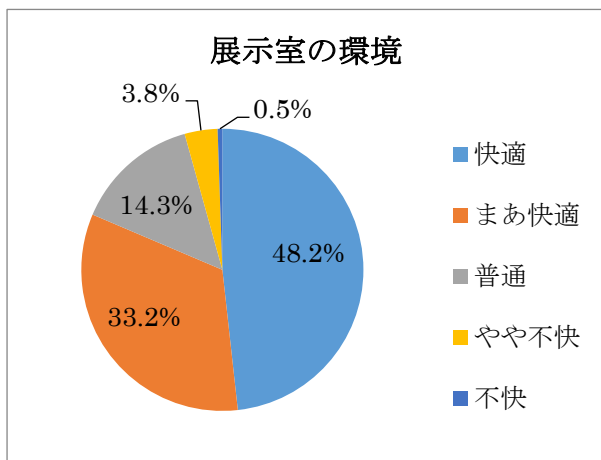
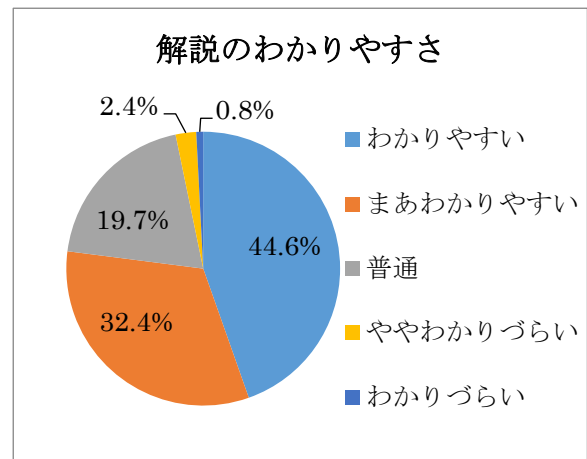
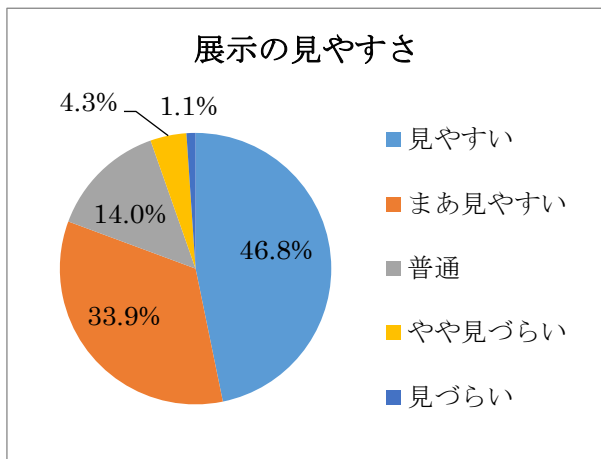
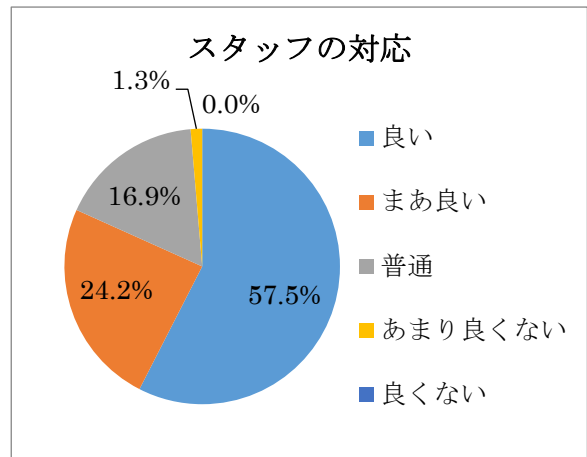
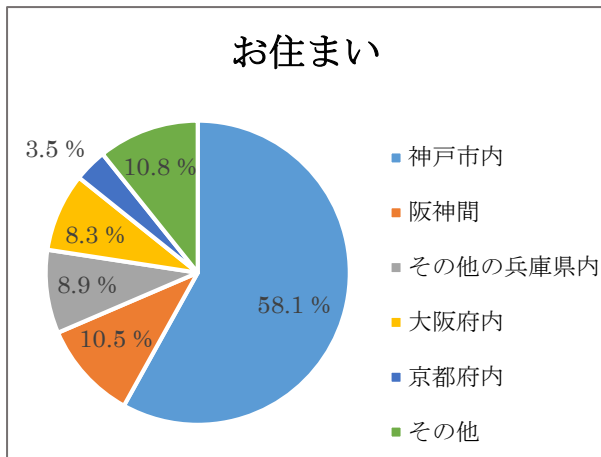


こども鑑賞ガイド

アンケートの結果（回答者：389人）

アンケート方法：展覧会期間中、観覧を終えた希望者による用紙記入





ボストン美術館の至宝展

—東西の至宝、珠玉のコレクション—

・内 容／

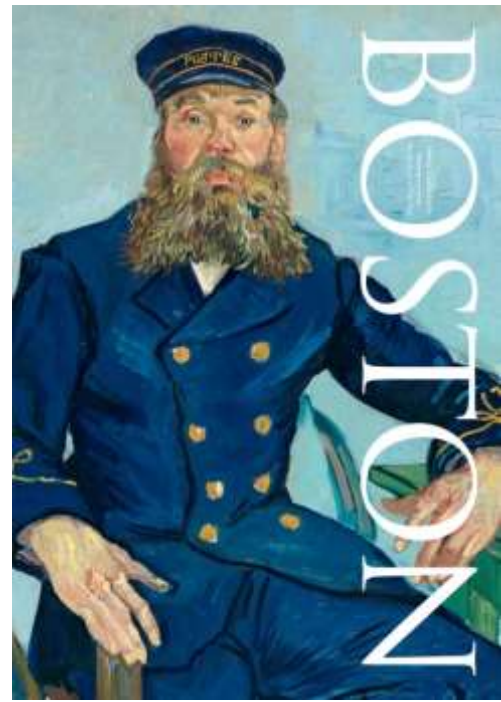
ボストン美術館のコレクションから名品を紹介する特別展。同館のコレクションを紹介する展覧会は日本国内でたびたび開催されており、当館でも「江戸の誘惑」(平成 18 年度)以来 5 回目となる。今回は同館が 2020 年に設立 150 周年を迎えるにあたり、日本限定の展覧会として、古代エジプト美術、中国美術、日本美術、フランス絵画、アメリカ絵画、版画・写真、現代美術と、東西の名品 80 点を紹介した。ボストン美術館のコレクションを総合的に紹介する展覧会は、日本では約 40 年ぶりの開催であった。

本展の特色としては、ボストン美術館のコレクションがいかにより形成され、どのようなコレクターたちが関わったかということに光を当てた点である。1876 年の開館以来、国や州の財政的援助を受けずにコレクションの拡充を続け、現在は世界有数となる約 50 万点の作品を所蔵している同館の活動は、展覧会を通して多くの来館者の関心をひいた。

- ・会 期：平成 29 年 (2017) 10 月 28 日 (土) ～平成 30 年 (2018) 2 月 4 日 (日) 83 日間
- ・会 場：特別展示室 1、南蛮美術館室、特別展示室 2、ギャラリー
- ・主 催：神戸市立博物館、朝日新聞社、朝日放送、BS 朝日
- ・後 援：アメリカ大使館
- ・特別協賛：第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命
- ・協 賛：セコム、凸版印刷、三菱商事、JR 西日本、日本教育公務員弘済会兵庫支部、パナソニック
- ・協 力：日本航空、日本貨物航空
- ・入 館 料：当日・一般 1,500 円
- ・入館者数：140,931 人
- ・出品点数：80 点 ※出品目録は[当館 HP](#)に掲載
- ・関連事業：p.20 に掲載



ポスターB2



図録



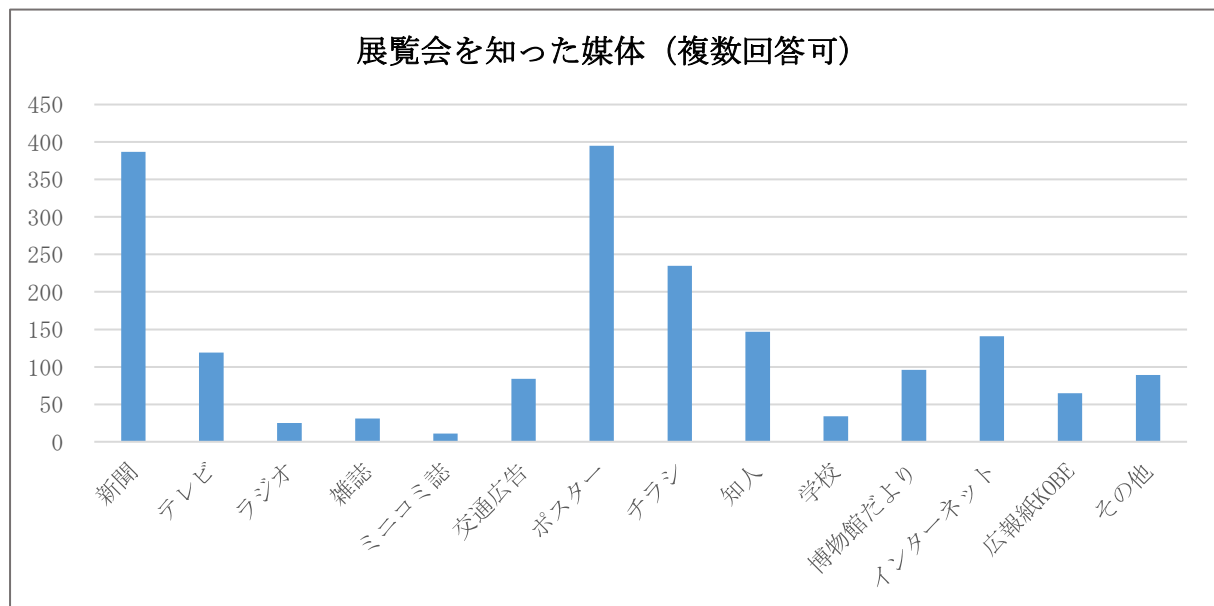
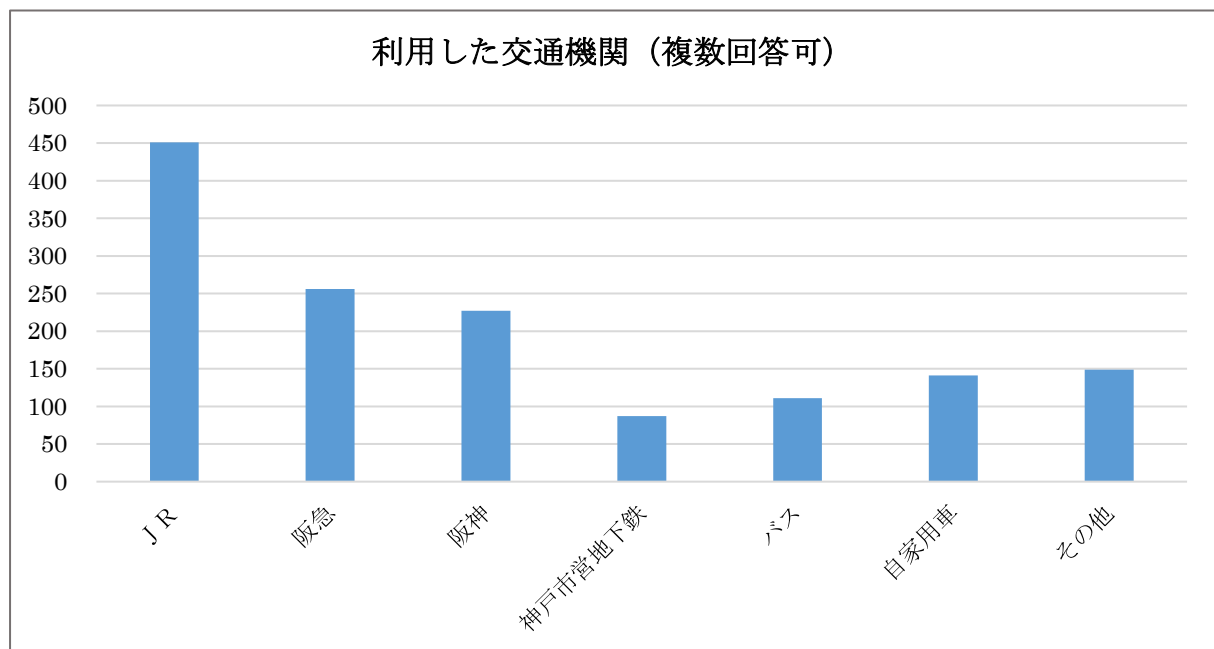
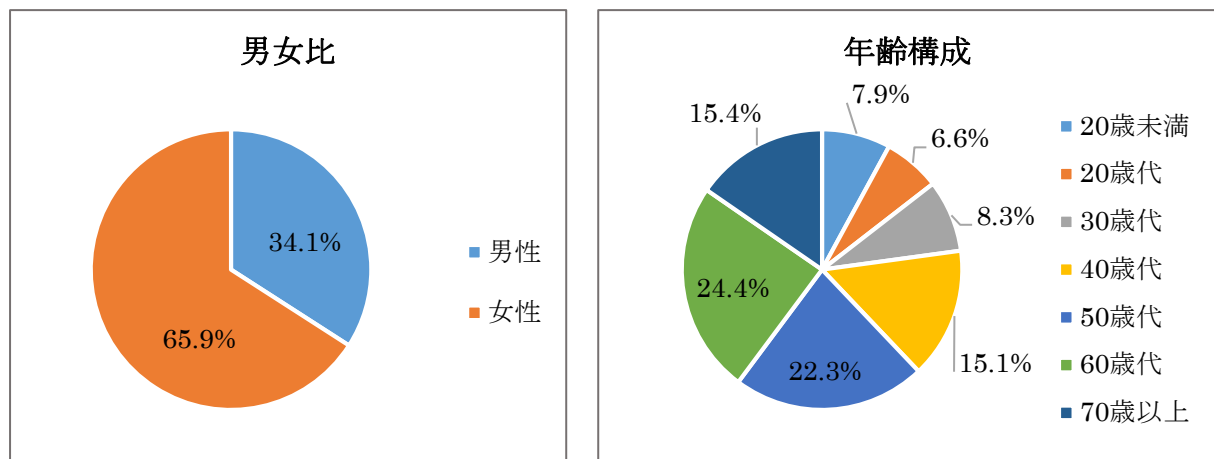
ポスターB3

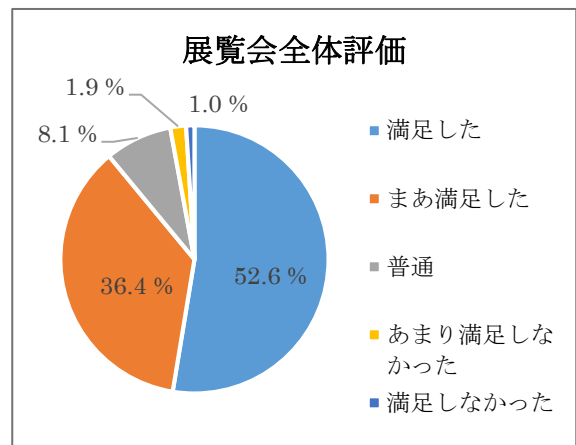
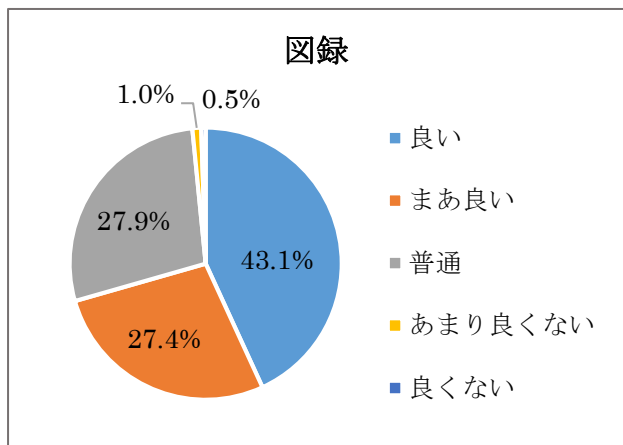
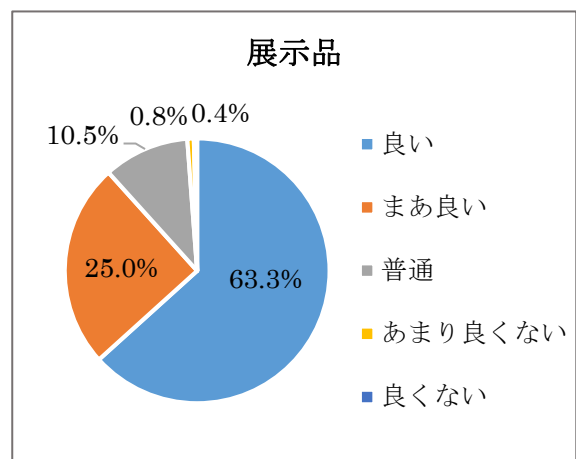
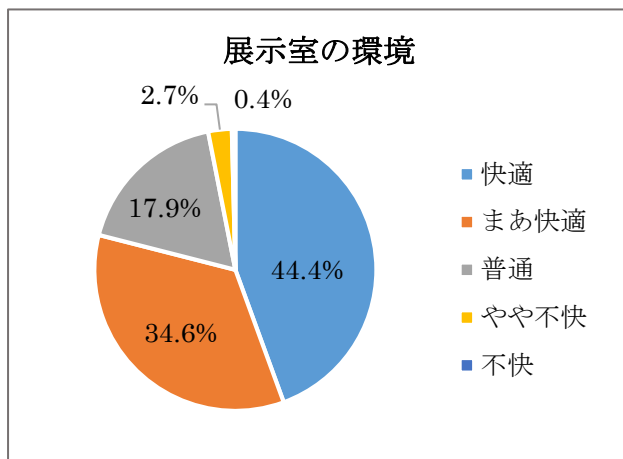
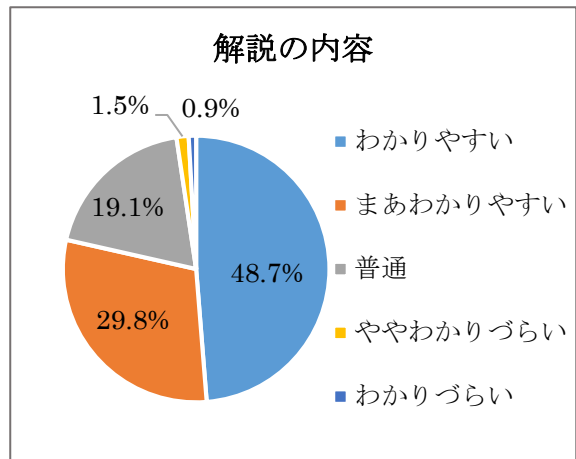
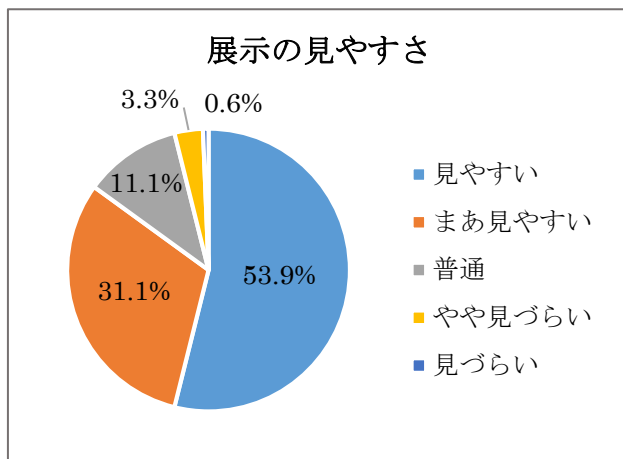
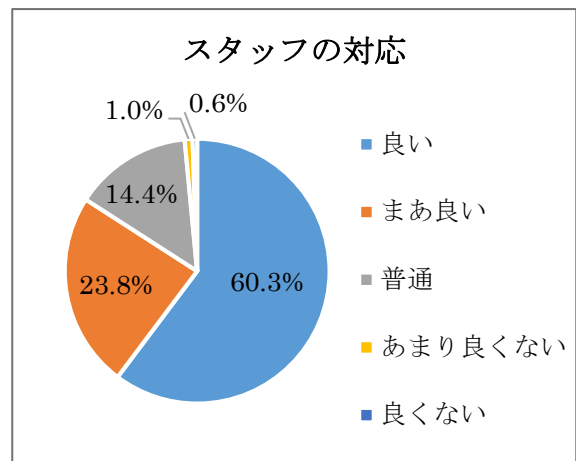
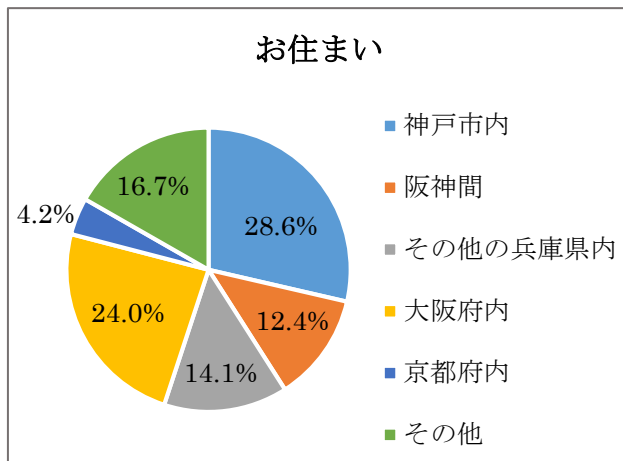


こどものための鑑賞ガイド

アンケートの結果（回答者：1,063人）

アンケート方法：展覧会期間中、観覧を終えた希望者による用紙記入





2. 企画展

(1) 南蛮美術・古地図企画展

絵画と地図に見る日欧交流

- ・内 容：同時開催の特別展「開国への潮流」の前史、16世紀から続く日欧交流の歩みを、当館の南蛮紅毛美術コレクションと古地図コレクションの優品でたどる展示となった。重要文化財「織田信長像」を修理完了後に初公開。修理作業中に得られた新たな知見も紹介した。
- ・会 期：平成29年(2017)8月5日(土)～9月24日(日) 44日間
- ・会 場：特別展示室1
- ・出品点数：30件
※出品目録は[当館HP](#)に掲載。

3. ギャラリー

(1)

版画家の絵と版画／彫刻家のデッサンと彫刻

- ・内 容／版画家や彫刻家の本制作と、本制作とは異なる技法で制作した作品をあわせて紹介することにより、画家が追求し続けた主題や表現世界を浮かび上がらせようとする展示。銅版画に優れた神原浩、木版画家・川西英、彫刻家・柳原義達の3名の郷土作家の作品37点を紹介した。
- ・会 期／平成29年(2017)9月30日(土)～10月22日(日) 20日間
- ・出品点数／37点
※出品目録は[当館HP](#)に掲載

4. 普及事業
(1) 一般向け事業

①ミュージアム講座（第22回）			
月 日	タイトル	講 師	参加者
9月21日	開国への潮流展をたのしむために	高久 智広	157人
10月19日	灘流（丹波杜氏）の秘伝を覗く	関野 豊	123人
11月16日	ボストン美術館の至宝 —偉大なるコレクターとコレクション—	石沢 俊	138人
12月21日	“鯉川筋画廊”と美術家たち —戦前の神戸画壇を振り返る	辻 智美	133人
1月18日	「楠正成」の受容史	水嶋 彩乃	128人
2月1日	江戸時代の日本図	永山 未沙希	115人

②講座「博物館をたのしむ」			
月 日	タイトル	講 師	参加者
6月9日	聖フランシスコ・ザヴィエル像とキリシタン遺物	塚原 晃	13人
6月16日	中世の古文書に親しむ	三好 俊	10人
6月23日	江戸時代の日本図を眺めてみれば…	小野田 一幸	13人

③展覧会関連事業			
●「古代ギリシャ—時空を超えた旅—」			
月 日	タイトル	講 師	参加者
会期中の 毎週土曜日	イヴニング・レクチャー 1回	担当学芸員	165人
●「遙かなるルネサンス 天正遣欧少年使節がたどったイタリア」			
月 日	タイトル	講 師	参加者
4月23日	コンサート イタリアを訪れた天正遣欧少年使節団 と当時の器楽曲（1585～1613年）	演奏： アカデミア・デル・ リチェルカーレ	160人
4月30日	記念講演会 ルネサンスからマニエリスムへ	岡田 温司 （京都大学大学院教 授）	160人
5月14日	記念講演会 ヨーロッパの知識を日本に伝える —天正遣欧少年使節の背景と意味する もの—	シルヴィオ・ヴィータ （京都外国語大学教 授）	160人
会期中の 毎週土曜日	イヴニング・レクチャー 全13回	担当学芸員	1,349人

●「開国への潮流—開港前夜の兵庫と神戸—」			
月 日	タイトル	講 師	参加者
8月11日	記念講演会 近代港湾の黎明	高久 智広	160人
9月3日	記念シンポジウム 神戸開港と港の近代化	後藤 敦史(京都橘大 学准教授) 添田 仁(茨城大学准 教授) 富川 武史(品川区立 品川歴史館学芸員)	160人
会期中の 毎週土曜日	サタデー・トーク 全8回	担当学芸員	計 540人
●「ボストン美術館の至宝展—東西の至宝、珠玉のコレクション—」			
月 日	タイトル	講 師	参加者
10月28日	記念講演会 ボストン美術館の偉大なコレクターた ち	モーリーン・メルトン (ボストン美術館 図書館・アーカイブ館 長)	108人
11月13日	障害者のための鑑賞会		124人
11月18日	記念講演会 ファン・ゴッホによるルーラン夫妻の 肖像画について	大橋 菜都子(東京都 美術館学芸員)	105人
12月16日	記念講演会 皇帝の絵画 ボストン美術館所蔵の中 国名画	板倉 聖哲(東京大学 東洋文化研究所教授)	93人
12月27日	特別講演会 ボストンのコレクターたちと、ヨーロ ッパ名画の探求	フレデリック・イルチ マン(ボストン美術館 ヨーロッパ美術部部 長)	126人
1月13日	記念講演会 コレクターとコレクション—ボストン 美術館の日本・中国美術	石沢 俊	145人
会期中の 毎週土曜日	イヴニング・レクチャー 全14回	担当学芸員	計 1,459人
11月24日 12月22日 1月26日	プレミアム・レクチャー (21時までの開館延長にあわせた 30 分の展示解説会)	担当学芸員	計 244人

④文化庁補助事業「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」			
●「学芸員と神戸を巡る（事前学習と現地見学）」			
月 日	タイトル	講 師	参加者
8月12日	手塚治虫ミステリーツアー	川野 憲一	18人
9月10日・ 24日	池長孟氏旧蔵 川西 英《神戸百景》シリーズより神戸を知る	辻 智美	計 30人
10月15日・ 29日	つわものどもが夢のあと―源平合戦の記憶をたどる	三好 俊	計 32人
11月5日・ 26日	古の祈りのかたち―神戸の御仏をたずねて	川野 憲一	計 39人
12月10日・ 24日	酒蔵と酒造技術の温故知新	関野 豊	計 30人
●「アート 歴史 ファッション 神戸を知る」			
月 日	タイトル	講 師	参加者
9月16日	べっぴん（別品）さんと神戸のファッション	徳山 孝子（神戸松蔭女子学院大学教授）	75人
9月23日	神戸のパブリックアート	坂上 義太郎（BBプラザ美術館顧問）	75人
9月30日	絵画で巡る近代神戸	高橋 佳苗（神戸市立小磯記念美術館学芸員）	80人
10月7日	戦国武将と神戸	三好 俊	67人
10月14日	神戸ゆかりの作家たちが見た中国	津守 陽（神戸市外国語大学准教授）	65人
10月21日	ファッション都市神戸のファッション	浜田 久仁雄（神戸ファッション美術館主査・学芸員）	65人
●「外国人のための日本文化を知るワークショップ」			
月 日	タイトル	講 師	参加者
12月2日	水墨画を描く	宍 冬瑩（水墨画家・芸術学博士）	14人
12月9日	掛軸製作の最初の作業―「裏打ち」	根津 節二（表具師）	22人
1月21日	浮世絵を摺る	森光 美智子（摺師）	19人
⑤その他			
月 日	タイトル	講 師	参加者
9月30日	大人のための浮世絵摺入門講座	藍原 好浩	14人

(2) 子供向け事業・学校との連携事業

①ジュニアミュージアム講座

月 日	内 容	参加者
5月28日	きみだけの仮面舞踏会マスクをつくってみよう！	17人
6月25日	天正遣欧少年使節を屏風絵にえがいてみよう！	19人
9月9日	開国のジグソーパズルをつくろう！	6人
11月19日	きみはゴッホを超えられるか？	21人
1月14日	涅槃図にジャンプイン!!	15人

②夏休み土器づくり教室

月 日	内 容	参加者
7月22日	成形 A 班	13人
7月23日	成形 B 班	16人
8月5日	焼成（於 神戸市立自然の家）	12人

③博物館たんけん隊

月 日	内 容	参加者
7月29日	博物館バックヤードツアー	32人
7月29日	博物館たんけん隊×中高生	8人

④こうべ歴史たんけん隊

月 日	内 容	参加者
8月20日	神戸開港当時のおもかげを探しに行こう	37人

⑤こどもの日スペシャル

月 日	内 容	参加者
5月5日	遥かなるルネサンス展の鑑賞会	56組 171人

⑥親子鑑賞会

月 日	内 容	参加者
12月3日	ボストン美術館展の鑑賞会	39組 111人

⑦学校団体受入数

年間	135校 6,582人
----	-------------

⑧学校授業への職員派遣

年間	131校 376時間 9,026人
----	-------------------

⑨中学校「トライやる・ウィーク」の受入	
年間	11校 22人
⑩博物館実習	
年間	19大学 24人
⑪教職員向け研修講座	
年間	2校 27人
⑫移動博物館車「おきしお夢はこぶ号」の活動	
年間	学校 15校 地域イベント6ヶ所

(3) 学習支援交流員活動

市民参画を進める開かれた博物館とするため、平成 20 年度より導入した「学習支援交流員」は「博物館の基本方針にしたがって、参加しようとする者の興味・経験・知識・技能など活かしながら市民と交流し、学習支援などを行う来館者サービスを通して、社会に貢献しようとする者」と規定している。活動は業務請負型ではなく、事業創出型を原則とし、参加者同士の交流や生涯学習の促進をはかることも目的としている。

年間活動回数・活動参加者総合計（延べ人数）	実施回数 249 回	参加総人数 2,198 人
内 容	実施回数	参加交流員
学習支援交流員 自主企画・運営ワークショップ	47 回	415 人
博物館企画の体験講座・ワークショップ等補助	27 回	189 人
学校団体来館対応（学習室での学習支援と交流）	44 回	105 人
トライやる・ウィーク等の学習支援	3 回	28 人
博物館実習等の支援（インターンシップ英訳）	1 回	7 人
特別展関連行事支援（開会式・講演会等）	23 回	177 人
ミュージアム講座に伴う活動支援	6 回	34 人
一般来館対応（学習室での学習支援と交流・館内案内）	22 回	30 人
アンケート集計・広報印刷物発送作業	4 回	26 人
定例会	12 回	349 人
自主企画・運営ワークショップ検討会・勉強会等	42 回	436 人
登録および登録更新にかかる研修会	2 回	38 人
博物館資料整理の補助	4 回	15 人

学習支援交流員によるワークショップ		
月 日	内 容	参加者
7 月 31 日	ザヴィエルのミニ掛軸づくり	21 人
8 月 7 日	南蛮扇子づくり	25 人
8 月 20 日	浮き出ろ古代のもよう・土器拓本	28 人
8 月 21 日	伊能忠敬の地図のひみつをさがれ	28 人
8 月 27 日	居留地探検ミニツアー	35 人

(4) 共催・協力事業			
●勤労市民センター（神戸いきいき勤労財団）連携事業			
月 日	タイトル	講 師	参加者
6月3日	遥かなるルネサンス天正遣欧少年使節がたどったイタリア 展覧会を楽しむための講座	辻 智美	85人
9月2日	開国への潮流—開港前夜の兵庫と神戸—展覧会を楽しむための講座	三好 俊	80人
9月2日	神戸開港 150年記念講演会	高久 智広	40人
9月22日	江戸時代花鳥画の魅力	石沢 俊	20人
10月7日	開港前夜—黒船の来航と大坂奉行—	高久 智広	44人
11月11日	神戸のカミとホトケ—顕現する神秘の世界—	川野 憲一	34人
11月12日	長田の歴史探訪 830年の時空を超えて	三好 俊	44人
11月25日	豊臣秀吉と有馬	三好 俊	44人
11月30日	和ガラスに親しむ	中山 創太	19人
12月2日	ボストン美術館 東西の名品 珠玉のコレクション 展覧会を楽しむための講座	石沢 俊	70人
1月27日	日本の聖地をめぐる 一遍上人絵伝の世界	川野 憲一	56人
1月27日	神戸の中世城郭探訪	東 喜代秀	37人
1月31日	垂水の古墳	関野 豊	27人
2月12日	ワークショップ「チョコレートで作る卑弥呼の鏡」	東 喜代秀	7組
●みなと銀行との共催事業			
月 日	タイトル	参加者	
8月12日	ワークショップ「オリジナルマグカップをつくろう」	26人	
●特定非営利活動法人神戸アイライト協会との協力事業			
月 日	タイトル	参加者	
7月15日	土器づくり教室	6人	

5. リニューアル

1. 事業の目的、効果

昭和 57 年（1982）に開館した当館は、社会情勢の変化に対応しながら、これまでの活動をより一層充実させる必要が生じてきている。そのために、リニューアル事業を行い、常設展示の内容の充実、設備全体の快適性・利便性を向上させるとともに、旧外国人居留地に立地する博物館として、周辺地域との親和性を高める。また、従来どおり開催する海外の芸術作品・文化財を紹介する大型展覧会との相乗効果により、市内外からの集客力・注目度を高め、周辺地域の新たな賑わいを創出するとともに、神戸の都市ブランド力の向上にも貢献する。

2. 事業の経過

平成 27 年度

外部の有識者 9 人を交えた検討会を開催。

河上 繁樹 関西学院大学文学部教授（委員長）
藤岡 穰 大阪大学大学院文学研究科教授（副委員長）
増記 隆介 神戸大学大学院人文学研究科准教授
戸田 清子 奈良県立大学地域創造学部教授
岩城 卓二 京都大学人文科学研究所准教授
中阪 守 神戸市立中学校教育研究会社会科研究部会長（有馬中学校校長）
板東 克則 神戸市立小学校教育研究会社会科研究部副部長（山田小学校校長）
松岡 辰弥 旧居留地連絡協議会副会長（松岡不動産株式会社 代表取締役社長）
大国 正美 神戸新聞社企画総務局長

平成 28 年 2 月 2 日～3 月 9 日 パブリックコメントの実施（1 件）

平成 28 年 3 月 31 日「神戸市立博物館リニューアル基本計画」を策定

平成 28 年度

5 月 27 日「神戸市立博物館リニューアル基本計画」を公表。

「基本計画」に沿って、プロポーザルによる、設計に関する業者選定

○展示設計に関する委託業者：株式会社丹青社

○建築・設備設計に関する委託業者：株式会社三菱地所設計

～29 年 3 月 → 展示工事 11 回の打合せを経て「基本設計」を策定。

29 年 3 月 「実施詳細設計」を策定開始。

平成 29 年度

実施詳細設計を 8 月末までに行った。

○展示設計に関する委託業者：(株) 丹青社

○建築・設備設計に関する委託業者：(株) 三菱地所設計

平成 30 年 2 月 5 日 リニューアル工事による休館。31 年 11 月 1 日までの予定。

6. 特別展・企画展等の開催一覧

月	特別展示室1	南蛮美術館室	特別展示室2	ギャラリー	ホール
4	古代ギリシャー時空を超えた旅ー 12月23日(金・祝)～4月2日(日) [82日間]				
5	<p>遙かなるルネサンス 天正遣欧少年使節がたどったイタリア</p> <p>4月22日(土)～7月17日(月・祝) [会期:75日間]</p> <p>共催:神戸新聞社、MBS、朝日新聞社</p>				
6					
7					
8	南蛮美術・古地図企画展 絵画と地図で読み解く日欧交流	<p>開国への潮流 ー開港前夜の兵庫と神戸ー</p> <p>8月5日(土)～9月24日(日) [会期:44日間]</p> <p>共催:神戸新聞社、NHK神戸放送局</p>		<p>神戸市指定文化財指定 記念特集展示 神戸外国人居留地の 設計図</p>	
9		<p>版画家の絵と版画／彫刻家のデッサンと彫刻 9月30日～10月22日 [20日間]</p>			
10	<p>ボストン美術館の至宝展 ー東西の名品、珠玉のコレクションー</p> <p>10月28日(土)～2月4日(日) [会期:83日間]</p> <p>共催:朝日新聞社、朝日放送、BS朝日</p>				
11					
12					
1	<p>リニューアル休館 (31年11月まで)</p>				
2					
3					

7. 刊行物	
(1) 館蔵品目録	
美術の部 No.34 浮世絵版画 総インデックス7 絵師名順 芳隆～呂雪 (一養亭芳滝、月岡芳年、歌川芳虎ほか)	350 円
考古・歴史の部 No.34 古文書XIV 摂津国八部郡花熊村文書	250 円
(2) 研究紀要	
No.34	500 円
塚原 晃「長崎版画としての『姑蘇石湖傲西湖勝景』」	
三好 俊「中世争乱の舞台としての有馬一落葉山城を中心に」	
石沢 俊「<修理報告>重要文化財 絹本著色織田信長像」	
(3) 年報	
No.33	PDF 版 HP 上で公開
(4) 博物館だより	
No.112	平成 29 年 8 月
No.113	平成 30 年 3 月

収蔵資料

1. 指定文化財一覧					
指定区分	指定年月日	指定番号	資料名称	員数	時代
国宝	昭和 45 年 5 月 25 日	考第 34 号	桜ヶ丘銅鐸・銅戈群 (袈裟襷文銅鐸、袈裟襷文銅鐸、銅鐸、流水文銅鐸、銅戈)	21 口	弥生時代中期
重要文化財	昭和 28 年 3 月 31 日	絵第 1257 号	紙本金地著色泰西王侯騎馬図 (ノ四曲屏風)	4 曲 1 隻	江戸時代初期
重要文化財	昭和 32 年 2 月 19 日	絵第 1390 号	絹本著色織田信長像 (古溪宗陳賛)	1 幅	桃山時代 天正 11 年 (1583) 賛
重要文化財	昭和 43 年 4 月 25 日	絵第 1625 号	紙本著色四都図・世界図 (ノ八曲屏風)	8 曲 1 双	江戸時代初期
重要文化財 (附指定)	昭和 45 年 6 月 17 日 (昭和 56 年 6 月 5 日)	建第 1771 号	旧小寺家厩舎設計図他	68 点	明治 43 年 (1910) ※旧小寺家厩舎 の付属指定
重要文化財	平成 7 年 6 月 15 日	絵第 1938 号	紙本金地著色南蛮人渡来図 (狩野内膳筆ノ六曲屏風)	6 曲 1 双	桃山時代
重要文化財	平成 9 年 6 月 30 日	絵第 1957 号	絹本著色相州鎌倉七里浜図 (司馬江漢筆ノ二曲屏風)	2 曲 1 隻	江戸時代 寛政 8 年 (1796)
重要文化財	平成 12 年 6 月 27 日	絵第 1974 号	紙本著色フランシスコ・ザビエル像	1 面	江戸時代初期
重要美術品	昭和 9 年 9 月 1 日		西洋二武人図・師父二童子	2 面	江戸時代初期
重要美術品	昭和 23 年 4 月 27 日		伝福岡県内経塚出土遺物	10 点	平安時代ノ永久 5 年 (1117)
登録文化財	平成 10 年 9 月 2 日	第 28-0026 号	神戸市立博物館 (旧横浜正金銀行神戸支店)	1 棟	昭和 10 年 (1935)
市指定文化財	平成 21 年 2 月 24 日	工芸品	南蛮人桜花文蒔絵鞍	1 背	安土桃山時代
市指定文化財	平成 26 年 3 月 25 日	工芸品	銅製経箱	1 合	鎌倉時代後期
市指定文化財	平成 26 年 3 月 25 日	書跡・古文書	和田岬・湊川砲台 (台場) 関係資料	1 件 (絵図 10 点・文書 14 点)	江戸時代末期
市指定文化財	平成 29 年 3 月 21 日	歴史資料	神戸外国人居留地計画図	1 幅	明治 5 年 (1872)

2. 受贈資料				
分類	資料名	制作時期	員数	寄贈者
歴史	兵庫勤番文書	江戸時代後期	280点	松浦 一美
歴史	神戸港写真	明治10年頃	1点	富川 武史
歴史	東洋汽船株式会社ポスター	明治時代後期～ 昭和時代前期	1点	田中 千尋
歴史	下田啓子氏旧蔵絵葉書	大正時代～昭和 時代前期	150点	飯酒孟 美穂

3. 購入資料				
分類	資料名	制作時期	員数	購入先
歴史	兵庫姫路電車沿線名勝案内	昭和5年	1枚	永森書店
美術	俣山「菊石図」	安永5年	1幅	有村松雲堂
歴史	摩耶山案内		1点	秦川堂書店
歴史	A REPORT OF A SPECIAL COMMITTEE OF THE GENERAL CHAMBER OF COMMERCE [附 A.O.Gay 書簡]	1867年	2点	青羽古書店
歴史	摩耶山案内		1点	あかつき書房
歴史	古写真「神戸市中鉄道」		1点	あかつき書房
歴史	古写真「神戸浜手市中」		1点	あかつき書房
歴史	明治十年太政官御布告		1点	あかつき書房
歴史	池川御普請所仕様帳		1点	あかつき書房
歴史	生田宮御社頭為御修覆料橋本藤左衛門ノ奉納銀 一件扣			あかつき書房
歴史	生田太神宮御鎮座由来並境内古蹟伝記		1点	あかつき書房
歴史	摂州矢田郡坂本村医王山広巖宝勝禅寺略縁起		1点	あかつき書房
歴史	MESSAGE OF THE PRESIDENT OF THE UNITED STATES COMMUNICATING	1868年	1点	青羽古書店
歴史	略平家都遷	享保20年	1冊 (6巻合 本)	衆星堂
歴史	測量船南紀日高郡由良湊ニ而碇泊滞船ニ付同国 貴志組大庄屋元江問合其外諸事控	文久元年 8月24日 より	1点	衆星堂
古地図	蝦夷行程記	安政3年	2冊	弘南堂書店
古地図	北蝦夷餘誌	安政7年	1冊	弘南堂書店
歴史	神戸外国人居留地計画図複製	平成30年	1幅	大入

4. 資料補修				
分類	資料名	制作年	員数	補修内容
古地図	源内焼地図皿		3点	接合・補彩
歴史	神戸市指定有形文化財 神戸外国人居留地計画図		1幅	本紙修理・軸装新調・太 卷芯付桐箱作製
歴史	塩田村絵図		1点	本紙修理・紙巻・保存箱 作製
美術	近代美術資料保存箱等			

5. 資料の利用

(1) 特別利用 館外貸出

21 箇所 134 件 187 点

貸出先(会場)	展覧会名	会期	点数	貸出資料
西宮市大谷記念美術館	「西宮の狩野派 勝部如春齋」	29.4.1- 5.7	1 件 1 点	勝部如春齋「鶉飼図」
神戸市役所市長室秘書課長	神戸市役所1号館15階 第2応接室 北壁に展示	29.4.1- 30.3.31	1 件 1 点	西村功「ベンチの夫婦(ロンドン)」
一般財団法人 神戸港振興協会(神戸海洋博物館)	神戸海洋博物館2階展示室に 展示	29.4.1- 30.3.31	1 件 1 点	西村公朝「平清盛坐像」
神戸ゆかりの美術館	「アカデミー・バーの壁画を 描いた作家たち」	29.4.8- 6.25	6 件 6 点	伊川寛「裸婦」(新南 1956-001)、伊川寛「双裸婦」、伊川寛「裸婦」(新 2005-021)、松村小琴「君子化為猿図」、松村小琴「月夜之図」、松村小琴「牡丹図屏風」
神戸市埋蔵文化財センター	「発見! 遺跡のどうぶつたち」	29.4.15- 5.28	2 件 3 点	「桜ヶ丘4号銅鐸レプリカ」、「桜ヶ丘5号銅鐸レプリカ」、「伝香川出土銅鐸レプリカ」
三木市立みき歴史資料館	「近世絵図にみる播州三木」	29.4.15- 6.11	2 件 2 点	「大日本全図 播磨国」、「日本州明解 完」
島根県立石見美術館	「キャプテン・クック探検航海とバンクス花譜集」	29.4.22- 6.26	4 件 6 点	「バタビア図」、高橋景保編・亜欧堂田善鐸「新訂万国全図」、「キャプテン・クックの生涯」、「クック航海図」
特定非営利活動法人 京都文化協会(さごう神戸店)	「春の院展」	29.9.5- 9.12	1 件 1 点	「南蛮屏風 高精細複製」
山口県立萩美術館・浦上記念館	「プリティ♡プリント 江戸の花鳥版画展」	29.9.16- 10.22	1 件 1 点	北尾政美「来禽図彙」
京都国立博物館	「国宝」	29.10.3- 11.26	1 件 2 点	国宝「桜ヶ丘4号銅鐸」、国宝「桜ヶ丘5号銅鐸」
あべのハルカス美術館	「北斎一富士を超えて」	29.10.6- 11.19	1 件 1 点	重要文化財 司馬江漢「相州鎌倉七里ヶ浜図」
津山洋学資料館	「絵画史料に見る江戸の洋楽事始」	29.10.7- 11.5	17 件 17 点	「バツティラニテ異国流音楽之図」、「阿蘭陀人図」、「嚙嚙人康楽図」、「阿蘭陀人巡見図」、「阿蘭陀人順見之図」、「紅毛人巡見之図 OLIFANT uurwerk」、「ヲロシヤ人」、「行列」、大槻玄沢編「環海異聞(写本)」、五雲亭貞秀「横浜鈍宅之図」、五雲亭貞秀「横浜異人商館之図」、五雲亭貞秀「生写異国人物 亜墨利加女官翫板箏之図」、歌川芳員「仏蘭西国」、歌川芳虎「仏蘭亜大調練之図」、歌川芳虎「駒場之風景」、楊洲周延「踏舞会上野桜花観遊ノ図」、楊

				洲周延「小学唱歌之略図」
大和文華館	「柳沢淇園—文雅の士・新奇の画家—」	29.10.7- 11.12	4件 4点	逸然性融「達磨図」、蘭溪若芝「群仙星祭図」、伝渡辺秀石「柘榴に白頭翁図」、伝渡辺鶴洲「開羽図下絵」
兵庫県立歴史博物館	「ひょうごと秀吉—近年の紹介資料を交えて—」	29.10.7- 11.12	4件 4点	「蒔絵桜花南蛮人文鞍」、「兵庫陣屋絵図」、「羽柴秀吉制札（天正7年6月28日・寄託資料）」、「羽柴秀吉制札（天正8年10月29日・寄託資料）」
兵庫県立考古博物館	「青銅の鐸と武器—弥生時代の交流—」	29.10.7- 11.12	1件 3点	国宝「桜ヶ丘3号銅鐸」、国宝「桜ヶ丘1号銅戈」、国宝「桜ヶ丘2号銅戈」
九州国立博物館	「新・桃山展—大航海時代の日本美術」	29.10.14- 11.26	5件 8点	重要文化財「聖フランシスコ・ザヴィエル像」、重要文化財「泰西王侯騎馬図屏風」、重要文化財「四都図・世界図屏風」、狩野宗秀「都の南蛮寺図」、「世界都市図帳」
神戸市埋蔵文化財センター	「神戸開港150年記念“大輪田”“兵庫”そして“神戸”～ミナトコウベの1300年～」	29.10.14- 12.3	1件 7点	「史跡 和田岬砲台 石堡塔内金具等（寄託資料）」
愛知県陶磁美術館	「染付：青繪の世界」	29.11.3- 30.1.14	35件 72点	「染付芙蓉手花鳥文皿」、「染付芙蓉手花鳥文皿」、「染付芙蓉手花鳥文皿」、「染付芙蓉手花鳥文皿」、「染付芙蓉手馬に花文瓶」、「染付芙蓉手宝尽し文柑子口瓶」、「染付花枝文瓶」、「染付蓋物」、「染付人物文碗」、「染付合子」、「染付に瑠璃釉合子」、「染付花卉に宝尽し文手付水注」、「染付オランダ風景図皿」、「染付婦女逍遙図皿」、「染付楼閣山水文深皿」、「染付楼閣山水文皿」、「染付褐釉蓮華牡丹文鉢」、「染付褐釉山水文鉢」、「染付褐釉山水文鉢」、「染付楼閣山水に人物文皿」、「染付楼閣山水に人物文皿」、「染付楼閣山水文深皿」、「藍絵阿蘭陀写花卉文四段重」、「染付転写西洋風景徳利」、「染付オランダ風景図皿」、「染付婦女逍遙文皿」、「藍絵花卉に鳥文角形向付」、「藍絵西洋風景図刀掛」、「藍絵西洋風景図大皿」、「染付西洋紋章文大皿」、「染付芙蓉手天使に紋章文皿」、「色絵阿蘭陀写し花卉文火入」、「色絵阿蘭陀写し花卉文角形皿」
神戸市埋蔵文化財センター	「昭和のくらし・昔のくらし12」	30.1.20- 3.4	1件 2点	「菊水小学校学校日誌」

bunkamura ザ・ミ ュージアム/ 佐川美術館	「神聖ローマ帝国皇帝 ルドル フ2世の驚異の世界展」	30.1.6- 3.11/ 3.21- 5.27	1件1点	「泰西王侯騎馬図複製」
徳島県立文学書道館	「巨匠 深山龍洞の仮名」	30.2.14- 3.25	44件44点	「古今和歌集第十七」、「清正集」、「高光集抄」、「朝忠集抄」、「和泉式部集第二抄」、「斎宮集抄」、「清正集抄」、「万葉長歌」、「海へ来て」、「高千穂」、「海恋し」、「万葉海の歌二首」、「あさひ」、「はるのその」、「蘭亭清遊（自詠歌）」、「万葉長歌並びに反歌」、「松蟬」、「孤獨」、「瀟の変貌（自詠歌）」、「梅」、「そら」、「芭蕉俳句二句」、「たのしみ帖」、「良寛の歌」、「海」、「比庵のうた」、「春慶塗皿」、「清正集草稿」、「高光集抄 草稿・第二作品」、「朝忠集抄草稿」、「和泉式部集第二抄草稿」、「満潮」、「伝教大師うた」、「斎宮集抄草稿」、「清正集抄草稿」、「千鳥」、「鳴門観潮」、「よしの」、「藤原佐理筆離洛帖節臨」、「韓藍花歌切臨書」、「藤原定家筆教訓色紙臨書」、「題名なし／高野切第二種倣書」、「猫の子」、「絶筆」

(2) 特別利用 館外貸出以外

許可件数	47件 716点		
利用区分		件数	点数
	(1) 熟覧	45	707
	(2) 模写	1	85
	(3) 模造	0	0
	(4) 撮影	44	725
	(5) その他	0	0

※利用区分の件数点数は重複がある。

(3) 画像利用

承諾件数	193件 677点		
利用区分		件数	点数
	(ア)	60	118
	(イ)	10	34
	(ウ)	59	347
	(エ)	58	165
	(オ)	6	13

(ア)	国、地方公共団体が公共の目的でその事業の用途として利用するため申請するとき。
(イ)	学校教育法第1条に規定する学校（大学は除く。）の教科書、学校（大学は除く。）が作成する教材の用途として利用するとき。
(ウ)	博物館が調査研究、展示、広報等の用途として利用するため申請するとき。
(エ)	営利を目的としない個人、団体が、営利を目的としない学術書（発行部数1,000部以下）、又は学術雑誌、調査報告書等もっぱら学術研究の用途として利用するとき。
(オ)	その他、神戸市教育委員会が特に必要と認める利用のとき。

(4) 画像提供業務

平成26年10月1日より、(3)画像利用に該当しない当館収蔵品の画像掲載・放送等については画像提供業務として外部委託している(委託先:株式会社DNPアートコミュニケーションズ)。

申込件数	418件 583点
------	-----------

入館者数

1. 年間入館者数		
開館日数	全 体	241 日
	特別展	204 日
入館者数	常設展	5,965 人
	特別展	367,663 人
	普及事業	1,062 人
	合 計	374,690 人
1 日平均	全体	1,555 人
	特別展	1,802 人

2. 年齢層・階層別									
常設展									
月	開館 日数	うち 特別展	一 般	高 大 生	小 中 生	シルバー	小 計	普及事業	合 計
4	18	10	587	29	25	17	658	0	658
5	26	26	268	72	40	4	384	0	384
6	26	26	191	3	34	1	229	0	229
7	23	15	732	54	236	21	1,043	30	1,073
8	24	23	165	26	30	0	221	0	221
9	22	21	207	16	7	5	235	14	249
10	22	3	1,625	178	502	73	2,378	132	2,510
11	26	26	76	20	339	0	435	0	435
12	24	24	96	39	35	2	172	0	172
1	26	26	91	6	52	5	154	0	154
2	4	4	42	3	11	0	56	0	56
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	241	204	4,080	446	1,311	128	5,965	176	6,141

特別展										
月	開館 日数	うち 特別展	一般	大学生	高校生	小中生	シルバー	小 計	普及 事業	合 計
4	18	10	16,647	266	556	950	965	19,384	0	19,384
5	26	26	39,603	752	576	1,636	3,486	46,053	188	46,241
6	26	26	58,233	725	434	1,867	5,171	66,430	19	66,449
7	23	15	67,630	875	536	2,798	3,679	75,518	0	75,518
8	24	23	6,818	347	278	855	545	8,843	26	8,869
9	22	21	8,540	307	72	571	1,014	10,504	157	10,661
10	22	3	4,027	52	45	49	155	4,328	16	4,344
11	26	26	28,973	673	214	1,206	2,267	33,333	198	33,531
12	24	24	29,835	913	383	1,145	1,672	33,948	133	34,081
1	26	26	50,330	1,082	567	1,508	3,499	56,986	34	57,020
2	4	4	10,910	383	71	271	701	12,336	115	12,451
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	241	204	321,546	6,375	3,732	12,856	23,154	367,663	886	368,549

3. 特別展

展覧会名		遙かなるルネサンス		開国への潮流		ボストン美術館の至宝展		
会 期		4/22～7/17		8/5～9/24		10/28～2/4		
開催日数		75 日間		44 日間		83 日間		
		入館料	入館者数	入館料	入館者数	入館料	入館者数	
有 料	一 般	個人	1,300 円	32,439	800 円	5,562	1,500 円	47,610
		団体	1,100 円	60,444	700 円	1,593	1,300 円	27,829
		前売	1,100 円	20,222	700 円	873	1,300 円	17,066
		計		113,105		8,028		92,555
	大 学 生	個人	900 円	1,762	600 円	571	1,100 円	2,356
		団体	700 円	776	500 円	63	900 円	542
		前売	-	0	500 円	20	900 円	205
		計		2,538		654		3,103
	高 校 生	個人	700 円	617	450 円	283	900 円	576
		団体	550 円	1,247	350 円	38	700 円	271
		前売	-	0	350 円	5	700 円	18
		計		1,864		326		865
	小 中 生	個人	500 円	1,510	300 円	351	600 円	1,138
		団体	350 円	1,698	200 円	55	450 円	465
		前売	-	0	200 円	4	450 円	68
		計		3,208		410		1,671
		シルバー	650 円	12,993	400 円	1,559	750 円	8,294
	MC		1,715		470		580	
	計		135,423		11,447		107,068	
免除・無料			65,947		7,900		33,863	
合 計			201,370		19,347		140,931	
入館者数/日			2,685		440		1,698	

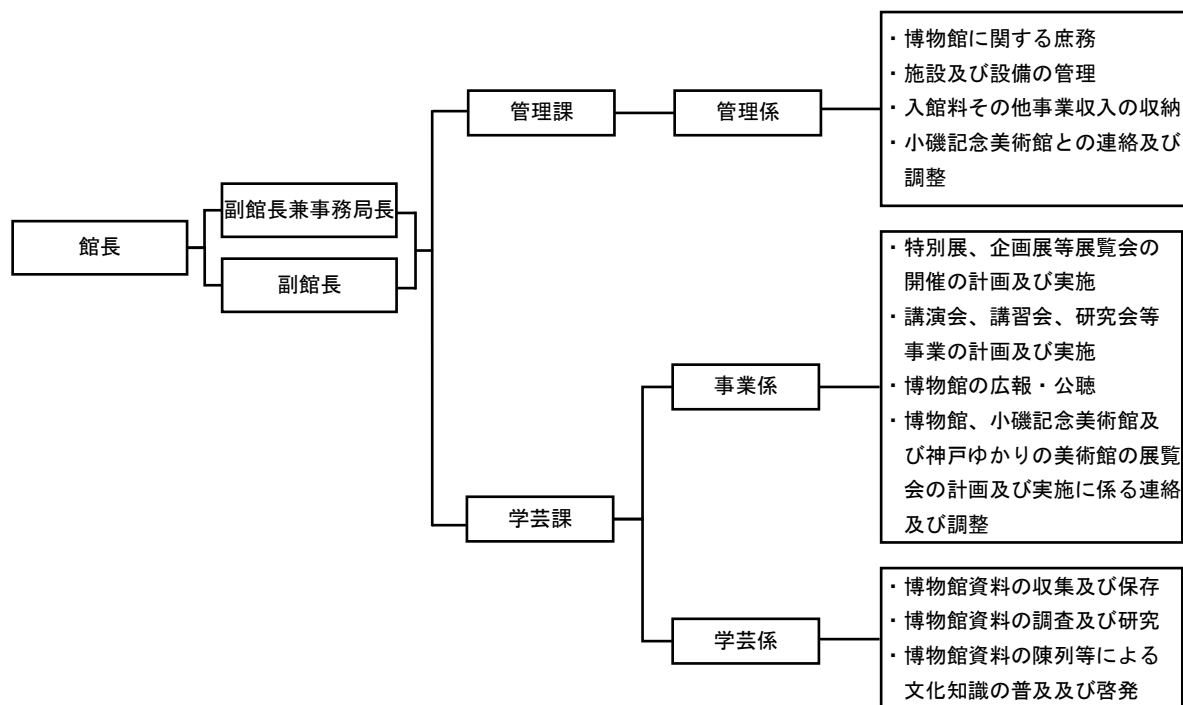
予 算

	(単位：千円)
常設展	1,127
普及事業	13,297
調査研究・館藏品等整備	4,975
管理運営	113,202
特別展開催	174,377
地域と協働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業	9,000
博物館リニューアル等	282,456
合 計	598,434

博物館協議会

会 長		
河 上 繁 樹	関西学院大学文学部教授	(学識経験)
副 会 長		
藤 岡 稯	大阪大学大学院文学研究科教授	(学識経験)
委 員		
板 東 克 則	神戸市立小学校教育研究会社会科部副部長 (山田小学校長)	(学校教育)
水 田 賢 一	神戸市立中学校教育研究会社会科研究部会長 (雲雀丘中学校校長)	(学校教育)
中 村 健 治	神戸市立高等学校教育研究会地歴公民部会長 (摩耶兵庫高等学校長)	(学校教育)
玉 田 はる代	神戸市婦人団体協議会会長	(社会教育・市民代表)
井 上 優	特定非営利活動法人こうべユースネット副理事長兼財務担当	(社会教育・市民代表)
辻 本 真也子	神戸市PTA協議会 組織・運営専門委員長	(社会教育・市民代表)
奥 村 比左人	神戸労働者福祉協議会副会長	(社会教育・市民代表)
稲 池 由 美	神戸市ネットモニター	(社会教育・市民代表)
原 田 正 俊	関西大学文学部教授	(学識経験)
戸 田 清 子	奈良県立大学地域創造学部教授	(学識経験)
黒 田 千 晴	神戸大学国際連携推進機構 国際教育総合センター准教授	(学識経験)
玉 田 芳 英	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所都城発掘調査部長	(学識経験)

組織 ・ 職員



職員	(平成 30 年 3 月 31 日現在)				
館長	大谷 幸正	学芸課			
相談役	梶本 日出夫	学芸課長	小野田 一幸		
副館長兼事務局長	寺田 浩	担当課長	山本 雅和		
副館長	山崎 整				
		事業係		学芸係	
管理課		事業係長	高久 智広	担当係長	塚原 晃
管理課長	浜田 宏樹	担当係長	東 喜代秀	学芸員	石沢 俊
管理係長	谷田 徳七	指導主事	藍原 好浩	〃	中山 創太
事務職員	黒田 恵子	〃	山中 馨	〃	永山 未沙希
〃	椎屋 正文	学芸員	辻 智美		
		〃	関野 豊		
		〃	川野 憲一		
		〃	三好 俊		
		〃	水嶋 彩乃		

29.4.1 大谷幸正（館長）発令、梶本日出夫（相談役）発令、山崎整（副館長）発令、浜田宏樹（管理課長）保健福祉局健康部予防衛生課より転入、山本雅和（担当課長）発令、山中馨（指導主事）玉津中学校より転入、永山未沙希・水嶋彩乃（学芸員）新規採用

30.3.31 梶本日出夫（相談役）退任、寺田浩（副館長兼事務局長）定年退職、谷田徳七（管理係長）任期満了、藍原好浩（指導主事）高取台中学校へ転出

神戸市立博物館年報 No.34

—平成 29 年度—

発行年月日 平成 30 年 8 月 2 日

編集・発行 神戸市立博物館

〒650-0034 神戸市中央区京町 24 番地

TEL : 078-391-0035

FAX : 078-392-7054